

安全な水辺を“誰もが”“一緒に”“楽しめる” 「大洗サンビーチ」

人々の目を引き付け、思わず写真を撮りたくなるような美しい景色。

その背景には、そこにしかない物語が秘められています。

7～9月号の巻頭グラビアページでは、茨城県の「美しさ」に、見た目と、その奥にあるストーリーの両方から迫ります。

視 界いっぱいの白い砂浜、青く澄んだ海、広い空。人工物はほとんど視界に映らず、日常を忘れて心ゆくまでリラックスできます。本号では、県内有数の規模を誇る海水浴場「大洗サンビーチ」を特集します。

2018年の大洗サンビーチの海水浴場開設期間は、7/14（土）から8/19（日）まで。今年も大洗サンビーチには、県内だけでなく関東近県から、多数の海水浴客が訪れています。多くの海水浴客を惹きつける大洗サンビーチの魅力は、果てしなく広がる大海原の美しさや、良好な水質、砂浜や浅瀬が広い遠浅の地形などにありま

す。こうした特長から、砂遊びや浅瀬での水遊びを楽しみたい子ども連れの家族客にも、大変人気があります。

もう一つ、大洗サンビーチの魅力として特筆すべき点は、障がいを持つ方や高齢の方でも海水浴を楽しむことのできる日本初の「ユニバーサルビーチ」であること。駐車場から砂浜までのスロープ、車椅子で利用できる更衣室やトイレ、水陸両用型の特殊車椅子の無料貸し出しなど、ビーチには様々な工夫が凝らされています。これらの取り組みは、Zico足立さん率いる、表紙写真の「大洗サーフ・ライフ・セービング・クラブ」の皆さんの主

導で実現しました。同クラブにまつわるお話については、次ページから足立さんに詳しく伺います。

さて、ここまでは「夏のレジャー」としての大洗サンビーチをご紹介しました。ここからは、オールシーズン楽しめる、大洗サンビーチの新しいレジャーをご紹介します。上の写真は、砂浜に薄く張った海水が鏡のように景色を反射する「リフレクションビーチ」現象を撮影したものです。大洗サンビーチのきめ細かな白砂と、遠浅の地形が生み出すこの現象は、全国的にも限られた場所でしか見ることができないそうです。幻想的なリフレク

ションビーチの写真は、インスタグラムなどのSNSでも注目を集めること間違いなし。撮影に最も適したタイミングは、満潮を過ぎ、3～4時間後の時間帯で、満潮・干潮の時間は気象庁のホームページで確認できます。

夏は誰でも安全に海水浴を楽しめるビーチとして、夏以外の季節はフォトジェニックな撮影スポットとして、一年を通じて様々な楽しみ方ができる大洗サンビーチ。色々な季節の思い出を、大洗サンビーチで作ってみたいかがですか？



プロフィール
大洗サーフ・ライフ・セービング・クラブ
代表 Zico足立さん

大洗サーフ・ライフ・セービング・クラブは、海難事故防止のためのビーチパトロールに加え、ビーチのコンセプト設計から運営まで幅広く取り組んでいます。ここからは、同クラブを立ち上げた足立さんに、詳しいお話を伺います。

クラブの成り立ち

大洗サンビーチとのそもそもの出会いは、1992年にさかのぼります。その頃、私は日本ライフセービング協会の理事を務めており、伊豆の下田や三宅島などで活動していました。当時、ビーチ監視員の高齢化などの問題に直面していた大洗町から、大洗サンビーチの運営を任せたいと依頼されたのです。町職員の「地元ビーチを良くしたい」という熱い思いを感じ、迷わず旗揚げしたのがこの「大洗サーフ・ライフ・セービング・クラブ」です。設立以来、地域・ビーチ利用者・当クラブが一体となり、誰もが安全に楽しめる環境の良いビーチ、集客力

があり地域振興に繋がるビーチを目指し、様々な取り組みに挑戦しています。

「誰もが」安全に楽しめるビーチ

ユニバーサルビーチの取り組みがスタートしたきっかけは、ビーチパトロール中に子どもの車椅子を押した女性に出会ったことです。なぜ泳がないのか不思議に思って聞くと、「車椅子では着替える場所すらないんです」という答えが返ってきました。誰もが安全に楽しめるビーチを目指していた私たちはショックを受け、翌1997年、町と地域住民の協力のもと、車椅子用スロープや水陸両用型車椅子を備えたユニバーサルビーチ（当時はバリアフリービーチ）をスタートしました。なにしろ日本初のこと、手探りで始めた取り組みですが、毎年全国から多くの方が訪れ、海水浴を楽しんでいます。

教育資源としての海

海は、楽しいものです。そして、楽しいだけではなく、教育の場でもあると思っています。海というとてもない“障害”の前では、人間は等しく無力な存在で、健常者も障がい者も平等です。そして、こうした障害に立ち向かおうとするとき、仲間との絆が生まれます。こうしたことを体験してもらうため、ジュニアライフセービング講習会やユニバーサルスポーツ体験イベントなど、様々なプログラムを実施しています。

海が教育の場であることは、私たちクラブメンバーにとっても同じです。運命に逆らって人の命を救う経験や、障がいを持つ方などの多様な人々と触れ合う経験は、メンバーを大きく成長させてくれます。

美しい景観が心を癒し、仲間との絆を創り、豊かな人間性を育む、大切な地域資源である大洗サンビーチ。まちの宝であるビーチを守り、さらに価値を高めていくため、これからも他のビーチに先駆けた積極的なチャレンジを続けていきます。

本号の舞台はこちら



大洗サンビーチ

環境省による快水浴場百選にも選定された、県内最大のスケールを誇る遠浅の海水浴場。水陸両用型車椅子を無料で貸し出すなど、障がいを持つ方に配慮されたユニバーサルビーチでもある。2017年7月にユニバーサル設計の津波避難施設「ビーチセンター」が完成し、誰もがより安心して楽しめるビーチとなった。

海水浴場情報
2018年海水浴場開設期間：7/14(土)～8/19(日)
駐車場：7000台(障がい者用20台)
大洗サンビーチの詳しい情報や、大洗町観光についてはこちら：
<https://www.town.oarai.lg.jp/index6.html>(大洗町商工観光課HP)
各種ビーチプログラムや、クラブの詳細についてはこちら：
<http://elnino.jp/>(大洗サーフ・ライフ・セービング・クラブ公式HP)

撮影：飯村ゆみ 取材：林